

# 各会派基本方針

## いばらき自民党



いばらき自民党 議員会長

白田 信夫

## 責任政党の重責肝に銘じ

いばらき自民党は、昨年暮れの改選でも引き続き、安定多数を維持することができました。県民の皆様から寄せられた温かいご支援のたまものであり、改めて心より感謝を申し上げますとともに、県政の責任政党としての重責を肝に銘じながら、県民の負託にしっかりと応えていく決意を新たにいたしました。

新生県議会は定数62人のうち、元職が3人、新人が15人と、顔ぶれが3割近く変わりました。女性議員は6人に増え、新しい会派も誕生しましたが、所属議員が41人となったのが会派は従前どおり、昨年暮れに取りまとめた令和5年度重要政策大綱を議会活動のバイブルとして、県勢の発展と県民福祉の向上に向けて、大井川県政と是非々々で向き合っております。

時代は今、予想もしないことが次々と起こる「非連続の時代」との認識は正鵠を得ています。しかし、そうした時代にあっても、私は、若者への投資を御旗として「愛郷無限」を政治信条に、「マネジメントの父」と呼ばれたピーター・ドラッカーの名言「未来を予測する最良の方法は、未来を創ることだ」を胸に刻み、若者への投資に注力していきたいと考えています。

わが会派は早速、2月28日に「食料の安定供給に向けた本県農業に対する支援を求める要望書」を大井川知事に提出し、3月9日には部活動の地域移行を中心とする「部活動改革」を巡り、政務調査会が拙速な対応にブレーキをかけるなどの活動を始めました。

さらに、前期までに、議員提案による政策条例を24本制定してきました。こうした政策立案機能の発揮は全国トップレベルと評されていますが、今任期も、地域経済の回復や、物価高騰から県民を守る取り組みなどに全力を尽くす活動方針を確認しました。県民の皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

## 公明党



公明党 茨城県議会議員 代表

高崎 進

## 希望が持てる安心した暮らしの実現を

昨年12月の県議会議員選挙では、改選前と同様の4議席を獲得することができました。県民の皆様からの真心からのご支援に心より感謝申し上げます。急速な人口減少・少子高齢化の進行など、これまでに経験したことのない時代の転換期を迎える中、茨城県が大きく飛躍できるかどうかは、今後の10年間が極めて重要な期間になってまい

ります。さらに、これからの時代においては、持続可能性と幸福の二者が、いわば車の両輪のような形でますます重要性を担っていくとも言われております。このような中で、私ども公明党は、県民の小さな声も政治に反映するため、令和5年度予算編成に向け、380項目の政策要望を取りまとめ、昨年12月に知事へ提出いたしました。

また、改選後最初の第1回定例会においては、県民の皆様から寄せられたさまざまな要望や課題について、代表質問や一般質問をはじめ、各委員会において政策提言として届けさせていたできました。今任期も「任んでいる人が日本一幸せな県・いばらき」を目指すとともに、県民の皆様が希望を持てる安心な暮らしを実現するため、全力で働いてまいります。

## 国民民主党



国民民主党 茨城県議会議員 代表

齋藤 英彰

## 生活者・働く者の視点で政策実現を

昨年12月の改選において、県民の皆様への大きなご支援を賜り、新たな仲間を加え改選前と同様の4名体制で、新たな任期がスタートしました。

私たちは、本会議をはじめ、各委員会において政策要望の実現と県民の皆様への負託に応える活動を継続して進めてまいります。現在、新型コロナウイルス感染症の

## 茨城無所属の会



茨城無所属の会 代表

中山 一生

## 県民に身近な分かりやすい県政を

地方自治で長年経験を積み重ねてきた3人が、保守の原点に立ち戻り、県政に一石を投じようとして新しい会派を結成しました。私たちを選んでいただいた昨年の選挙では、6割を超える有権者が棄権する県政史上最低の投票率に衝撃を受けました。県民と県政の距離を近づけるために、3人の持ち味を活かして力を

合わせてまいります。人と地球にやさしい政治が、私たちの共通の目標です。水と緑豊かな茨城の魅力を引き出し、人が元気で誇れる茨城を、次の世代に責任をもつてつないでまいります。健康長寿を全うする茨城を目指し、地力を活かした人にやさしい農業や、強くしなやかな新しい健康体操などを提案。子育て世代に選んでもらえる茨城のため、子どもたちの願いをかなえる県立高校などの教育の充実。自然と共存する、再生可能エネルギーと蓄電池をセットで促進するなど、カーボンニュートラルの実現・・・これらの夢をかなえていくには、県民の皆さんのお力が必要です。皆さんが投票したくなるまっとうな県政を目指し、茨城を愛する皆さんと寄り添い、ともに歩んでまいります。

## 立憲いばらき



立憲いばらき 代表

設楽 詠美子

## いのちを育み守ります

新しい茨城県議会議員のメンバーとなり、はじめての春を迎えました。感染症分類が5類へ移行することに伴い、保健医療体制の充実を図りながら、安心してウィズコロナ・ポストコロナの時代を迎えられるように県民の皆様とともに歩みを進めてまいります。私たちはコロナ禍で見えてきた生理的貧困をはじめ、子どもや女性の自殺の

課題を乗り越えていく必要があると考えます。そこで、以下6点に力を注いでまいります。

- 1 生理用品の県立学校・県有施設への完全設置
  - 2 茨城県で育つすべての子どもたちの夢をかなえる給付型奨学金制度の実現
  - 3 有機栽培の農作物の生産拡大とオーガニック学校給食
  - 4 お一人様の政策として在宅医療介護を充実し見取りの環境づくり
  - 5 性交同意の理解を推進するための3歳から大人への性教育
  - 6 多様性を認め合うパートナーシップからお子さんを含めたファミリーシップ制度への拡充
- 私たちは二人会派であることから意思決定がスムーズであり、県民の皆様の声を受け止めスピーディに行動してまいりますので、ご指導よろしくお願いたします。